



万が一の災害に備え、防災資機材の説明を受ける住民の皆さん（山田南自治会）



救出救助訓練に参加した航空自衛隊松島救難隊の隊員は、消防署救急隊員との見事な連携を見せました

町総合防災訓練に2,333人 災害に対する心構え新たに

町総合防災訓練が9月6日、町民2,333人が参加して行われ、万が一の災害に備えた各種訓練が繰り広げられました。全町民を対象とする津波避難訓練では町全体で1,568人が高台などへ避難したほか、山田南自治会では本年度までに整備した防災資機材の公開や取り扱いの説明が行われました。同訓練終了後は町民グラウンドに会場を移し、町消防団による林野火災防御訓練や、北浜地区自治会と田の浜婦人消防協力隊による初期消火訓練などを実施。また、航空自衛隊松島救難隊のヘリコプターによる救出救助訓練では、救急車で運ばれた負傷者を素早く搭乗させるなど、消防署救急隊員との見事な連携を見せていました。最後に沼崎喜一町長が「災害は忘れるいとまもなくやってくる。訓練を契機に災害に対する心構えを新たにしてほしい」と訓示しました。

千葉さんと山内さんが100歳に 周囲から温かい祝福受ける

轟木の千葉恒太郎さん（明治42年9月1日生まれ）と関口の山内ツマさん（同9月12日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えました。9月1日、千葉恒太郎さんの自宅を沼崎喜一町長が訪れ、千葉さんに長寿祝い金を手渡しました。千葉さんは今年5月に体調を崩し自宅で療養中ですが、ひ孫たちの声を聞くのが一番の喜びとのこと。この日は親類など20人が集まり、にぎやかに千葉さんの長寿を祝いました。また、12日には特別養護老人ホーム平安荘（井上義一理事長）で山内ツマさんの100歳を祝う会が開かれました。会では沼崎町長から長寿祝い金が贈呈されたほか、平安荘の職員から花束とバースデーケーキが贈られると会場は拍手に包まれました。この後施設の職員による祝宴が行われ、お祝いに訪れた3人の娘さんらに囲まれながら温かい祝福を受けていました。



沼崎町長から千葉恒太郎さんに長寿祝い金を手渡されました



山内ツマさんに施設職員から花束が贈られました



今月の題字

山崎美緒ちゃん
(船越小2年)

町のわたい

第31回岩手県学童相撲大会 佐々木拓海君(大浦小5年)が優勝

8月30日、盛岡市で開かれた「第31回岩手県学童相撲大会」5年生の部で、大浦小学校の佐々木拓海君が優勝しました。大会は岩手県相撲連盟などが主催したもので、5年生の部には県内各地から集まった豆力士28人が出場。初戦から順調に勝ち上がった佐々木君は、決勝で対戦相手を得意の上手投げで破り、見事栄冠を手に入れました。小学1年生から相撲を始め、前須賀相撲道場で練習に励む佐々木君。「もっと強くなって全国で活躍できる選手になりたい」と目を輝かせていました。



地域医療講演会に240人が聴講 山田病院平泉副院長が講演

9月4日、地域医療講演会が町中央公民館で開かれ、県立山田病院の平泉宣副院長が「地域医療最前線」と題して講演を行いました。地域医療の現状を住民に知ってもらおうと町と「山田病院と地域医療を守る会」(佐藤照彦会長)が主催したもので、町民ら240人が聴講。講演で平泉副院長は、同病院の医師の勤務状況や訪問診療などについて説明したほか、地方の医師不足を招いている医師数の地域間格差是正のため、医師の公的地域病院勤務の義務化など医療制度の改革が必要であると話しました。その上で「地域の医療問題を解決するためにも、住民が声を大きくする必要がある」と参加者に訴えていました。



町内の活性化に一役 三陸山田はしご酒大会を開催

9月3日、「三陸山田はしご酒大会」(同実行委員会主催)が町内39の飲食店を会場に開催されました。町民らにお気に入りの店を見つけてもらい町内の活性化につなげようと企画されたもので、当日は町内外から50人が集合。開会式で長崎の上林寛さんが「われわれのんべえは、決して飲酒運転をしません」と宮古警察署山田交番の菊地一弘所長に選手宣誓を行うと、参加者たちはさっそく夜の町に繰り出しました。この後3～4店舗を巡り再度スタート地点に集合、町の特産品などが当たる抽選会が行われました。参加した皆さんは、ほほを赤らめながら仲間たちとのひとときを楽しんでいました。

